

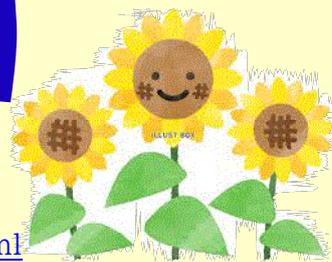
鹿屋市立西原台小学校 学校だより 2月号 令和4年2月28日

教育目標

夢を一緒にかなえよう

～気付き・考え・高め合う～

ひまわり



住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX:0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)

耐雪梅花麗

校長 田中 雄志

春の訪れを告げる白やピンクのかわいらしい梅の花が、あちらこちらで咲いています。標題の言葉は、西郷隆盛が遺した言葉です。「雪に耐えて梅花麗し（ゆきにたえてばいかうるわし）」と読み、「厳しい雪の寒さに耐えてこそ、梅の花は美しく咲くことから、人間も多くの困難を経験してこそ、大きなことを成し遂げられるということ。」という意味だそうです。



同じような意味合いからでしょうか、梅の花の花言葉は『忍耐』だそうです。また、可憐で美しいたたずまいから『高潔』『気品』『澄んだ心』『忠義』等の意味もあるのだそうです。子どもたちもこの梅の花のように、忍耐力を身に付けて困難や辛さ乗り越え、高潔で気品ある人間に成長してほしいと思います。

しかしながら、現在の社会状況や子どもたちを取り巻く環境からは、「忍耐力」や「高潔」などを身に付けることが難しくなっているように感じます。学校や家庭では、もっと子どもたちに「我慢する心」や「ルールを守る」ことなどを教えたり、手本を見せたりする必要があるように思います。

例えば、子どもたちは朝の登校でも「我慢」や「ルール」、「気品」について学ぶことができます。凍てつくような寒い朝、自分で歩いて登校することにより「忍耐力」が体得できます。歩道を歩いたり道路を横断したりすることで「交通規則」や「社会規範」などのルールを守ることの大切さを学びます。登校中にあいさつをしたり止まってくれた車にお礼をしたりすることで「社会性」や「礼儀」を身に付けることができます。体験（特に困難を乗り越える体験）は、心と体を強く、豊かにしてくれます。困難を乗り越える体験を子どもたちにはできるだけ経験させたいものです。

2月に入って、西原台小でも関係者の新型コロナの感染が相次ぎ、2月末時点で、のべ10学級が1～2日ずつの学級閉鎖となってしまいました。県のまん延防止等重点措置の期間も3月6日まで延長されるなど、まだまだ予断を許さない状況です。

本年度も残り1か月となりました。登校日数では20日もありません。残りの日々を健康に安全に過ごせるように、マスクの着用や石鹸による手洗い、手指の消毒、こまめな換気、3密を避けるなど感染予防対策に努めるとともに、道路の歩き方や自転車の乗り方など交通安全にも十分気を付けて過ごしてほしいと思います。